

令和2年度 第1回 横浜市自転車等施策検討協議会 議事録

日 時	令和2年7月8日(水) 14:00~15:30
開 催 場 所	市庁舎18階会議室
出 席 者	岡村委員(委員長)、青木委員、井上委員、大石委員、岡崎委員、金子委員、荏部委員、絹代委員、木村委員、五反田委員、鈴木委員、高橋委員、野田委員、八郷委員 計14名(委員は五十音順)
欠 席 者	阿部委員、福田委員 計2名
開 催 形 態	公開(傍聴者0名・報道関係者0名)
資 料	次第、委員名簿、説明資料

1. 開会

2. 議事

(1) 各施策の実施状況について

(事務局)

※説明資料を用いて、「各施策の実施状況について」説明

(大石委員)

- ・ アンケート調査結果の「自転車通勤(P.48)」とは、自宅から会社まで自転車通勤なのか、それとも自宅から駅まで自転車通勤という方も含まれているのか。
- ・ 「放置自転車の推移(P.37)」について、放置自転車が3分の1まで減ったのは、駐輪場に自転車を収容する人が増えたのか、それとも自転車利用者が減ったのか。

(事務局)

- ・ 自転車通勤には、駅端末としての自転車利用も含まれている可能性があるが、サイクリストを対象にアンケート調査を実施しているため、多くの方が自転車を利用して目的地まで行っていると思われる。
- ・ 放置自転車は減っていると考えられるが、駅までの自転車利用者が減っていることも考えられる。

(鈴木委員)

- ・ 「自転車利用環境づくり(P.23)」について、山下公園、赤レンガ倉庫、象の鼻パーク、臨港パークの公園内において自転車の乗り入れ禁止を乗り入れ可能にできないか。

(事務局)

- ・ 自転車活用推進計画を策定するときも課題になっていたが、臨海部の公園は港湾緑地と都市公園等からなっており、現状自転車は乗り入れ禁止となっている。まずは、駐輪場整備等から取り組むことを考えている。自転車の乗り入れは次の段階になると思う。

(絹代委員)

- ・ 「まもる」の交通安全教室について、保育園向けの指導員が素晴らしく、良い交通安全教室であった。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で自転車が急増している。横浜市内も年代問わず、自転車利用者が増加しており、歩道上にあらゆる種類の自転車が走っているため、歩行者の歩くスペースが

無くなっている。

- ・ 自転車利用者のほとんどがルールを守っていないため、「まもる」を真剣に取り組んでいかなければ危険ばかり増えていく。
- ・ 子供乗せ自転車がルールを守らない問題等がある中、新型コロナウイルスの影響で自転車教室が開催できないことで、教室開催のために確保されていた予算はどうなるのか。世代を問わずルール・マナーが周知されるように、ルールの動画を作成するなど、新たなチャレンジができるのではないか。
- ・ 運転免許更新時に自転車の話が出ることはない。ドライバー側への教育、自転車利用者への教育が必要であり、今こそ取り組んでいくべきではないか。

(事務局)

- ・ 昨年度、幼児向けの指導員を1名増やし、体制の強化を進めている。
- ・ 市内に自転車が aumentando いるが、交通安全教室が開催できない状況であるため、SNS を活用した啓発活動など新たなツールを使いながら進めている。
- ・ 運転免許更新時の自転車に関する指導については、神奈川県警察に伝えたい。

(八郷委員)

- ・ 新型コロナウイルスの影響における公共交通機関の状況について、公共交通機関は、経済・生活に欠かすことのできないものであり、運行を継続させるよう言われている。一方で、テレワークや自転車通勤等を政府が推奨していることから、公共交通の利用者が減少し、非常に厳しい状況である。
- ・ 「自転車通勤のまとめ (P. 53)」として、「市としての効果的なアプローチを検討」とあるが、新型コロナウイルスが収束後、公共交通機関とのバランスがとれた自転車活用を考えていただきたい。

(事務局)

- ・ 横浜都市交通計画に鉄道、バス、自転車、自家用車がバランスのとれた交通体系を構築していくことを位置付けている。公共交通機関とのバランスを図りながら自転車活用を進めていく。

(岡村会長)

- ・ 公共交通機関とのバランスもあるが、新型コロナウイルス後は以前と同じバランスではないと考えられる。世の中の変化に沿って計画も変えていかないといけない。
- ・ 新型コロナウイルスにより近場での移動が増えているが、その移動を自動車に頼るのではなく、公共交通も利用しつつ、徒歩も自転車も利用し、まちの空間を楽しんでいただく。短期的施策としても考えていく必要がある。

(事務局)

- ・ 新しい生活様式の中でのバランスというのは、新しい視点であり、委員の方には今後も助言をいただきながら検討を進めたい。

## (2) 指標の設定及び達成状況について

(事務局)

※資料を用いて、「指標の設定及び達成状況について」説明

(岡崎委員)

- ・ 指標（自転車関連イベント）について、現在、新型コロナウイルスで様々なイベントが中止となっているが、当面その状況は続くと考えられる。
- ・ 観光 MICE の中では、ハイブリッド型が増えており、Web 上での情報提供が進んでいる。新型コロナウイルスがあるからイベントができない、で終わりにするのではなく、市でも新しいやり方を模索し、開催方法を工夫してほしい。

(事務局)

- ・ インターネットを介し、家の中で世界の色々なコースを自転車で走るというイベントがあると聞いている。

(絹代委員)

- ・ そのイベントは ZWIFT（ズイフト）であり、ZEIFT とは、オンラインで世界中のライダーが同じ時間にスタートして、仮想のレースをするものである。横浜のバーチャルレースは面白いかもしれないが、実際に実行するのは難しいと考えられる。
- ・ 横浜は美しいまちなので、投稿写真などをネット上で共有できれば、世界に発信できるイベントに代わっていかかもしれないし、楽しい空間を利用してルール発信していけるかもしれない。新たなやり方を考えてほしい。

(事務局)

- ・ 新型コロナウイルスを含めた新たな取り組みについては対応していきたい。先進的な知見を委員の方々に伺いながら検討していきたい。

(岡村会長)

- ・ 指標については、事務局案でよろしいか。

<一同異議なし>

(岡村会長)

- ・ 議論は終了したため、事務局に進行をお返しする。

## 3. 閉会